

技術士 1 次試験に合格して



小林 由佳理

(こばやし ゆかり)

勤務先

株式会社ズコーシャ

総合科学研究所 自然環境調査室

〒080-0048 帯広市西 18 条北 1 丁目 17 番地

TEL 0155-33-4400 FAX 0155-33-4401

E-mail y.kobayashi@zukosha.co.jp

■ 専門：環境部門

自己紹介

私は、千葉県に生まれ、高校までは千葉県で暮らしていました。大学からは地元を離れ、長野県の大学に進学し、卒業後、北海道に移住し大学院の修士課程を修了しました。昨年、帯広の総合コンサルタント会社であるズコーシャに入社し、自然環境に関わる仕事をしています。

子供の頃から生物が好きでしたが、地元には自然と呼べるような環境がほとんどなかったため、自然豊かな長野県や北海道に憧れていました。大学では、カタツムリの右巻きと左巻きの進化に関する研究をしていました。長野にいたが、研究はずっと室内作業だったので、大学院ではフィールドワークがしたいと思い、北海道のフィールドワークが多い研究室に入りました。そこでは、磯に生息する貝類や海藻などの個体数や分布などを調査し、長期データから外来種の分布状況と侵入成功に影響する要因について研究しました。会社に入社してからは、植物、鳥類、魚類など動植物全般を対象に調査をしています。林や川での調査が多く、海の調査とは違ってヒグマやスズメバチなどの危険もありますが、様々な生物に出会えること、常に新しい発見があることがとても魅力的な仕事だと思います。

受験のきっかけ

私は入社当初、仕事に関係のある資格を一つも持っていませんでした。仕事に繋がる資格を取得したいと考えていたところ、技術士という資格があることを知りました。会社では技術士の取得が強く推奨されていたこともあり、技術士を目指して一次試験に挑戦することに決めました。

受験体験

どの部門で受験するかは、少し悩みました。初めは、学習の負担を減らすため、大学の専門に近い生物工学部門で受験しようと思っていました。しかし、これから仕事をする上で必要な知識を身に付けることも考えると、環境部門を勉強したほうが得られるものが多いと考え、環境部門で受験することにしました。

学習方法については、過去 5 年間の過去問を中心に勉強しました。日本技術士会のホームページから過去問を入手し、技術士受験を応援するページ SUKIYAKI 塾のホームページなどで解説や対策を調べました。最初に 1 年分解いた際に、適性科目が全く解けなかったため、時間をかけて解説などを読みました。専門科目は過去問を中心に勉強し、基礎科目は過去問から解けそうな問題を抽出して勉強しました。

試験を受けて、2 択に絞り込んだところで悩んだ問題がいくつかあったので帰宅後に調べました。悩んだ末に間違えた回答をしてしまっていた問題があったので、不合格だろうと期待はしていませんでしたが、運良くギリギリの点数で合格していました。

今後の目標

早ければ再来年に技術士二次試験を受けることができるので、今年からは二次試験の受験を意識して業務に取り組みたいと思います。実務経験がたったの 2 年で技術士二次試験に合格することはとても難しいことですが、一つ一つの業務に真剣に向き合って技術士に求められる能力を磨きつつ、技術士二次試験に挑戦していきたいと思っています。